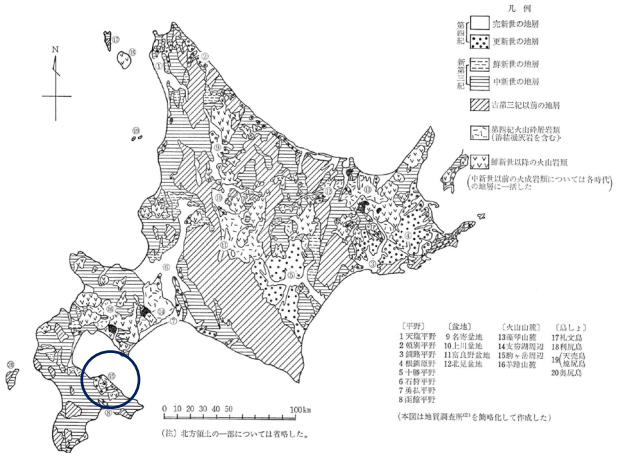
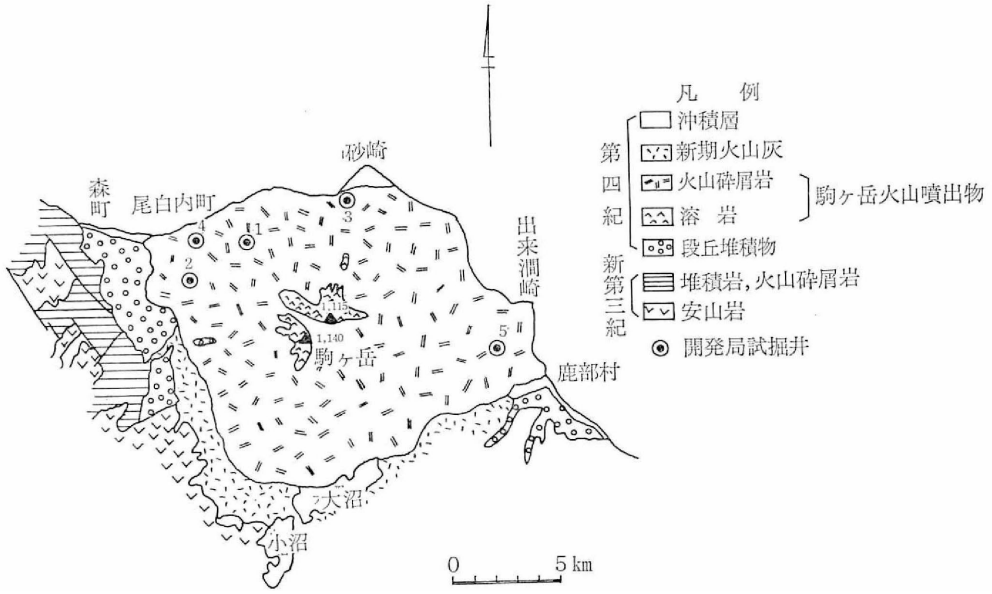
15.駒ヶ岳周辺



地形・地質

駒ヶ岳は道南の渡島半島にある標高 1140m の活火山です。山体はほぼ完全な円錐形をし，山体の周囲には緩傾斜の広大な裾野をもちます。地質は，山体周辺や山麓部に分布する軽石流堆積物，火砕流堆積物などの火山噴出物と，山体を構成する輝石安山岩類からなります。



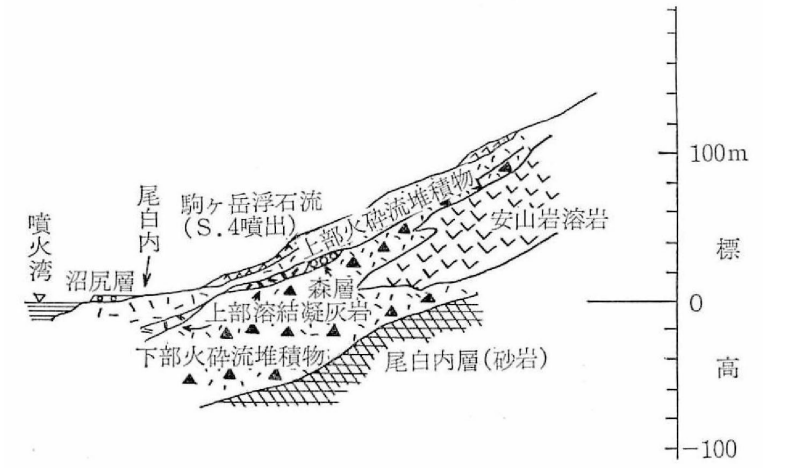
駒ヶ岳地域の地質図

地下水

深層地下水は火砕流堆積物中の下層部に存在しています。浅層地下水は，火山噴出物の表層部に宙水として存在するものが大部分で，場所によっては湧水として地表に湧出していますが、開発可能量は小さいです。

駒ヶ岳西～北麓の地層層序表

時代		地層名（層厚 m）	岩質	備考
第四紀	完新世	現海浜堆積物	砂	
		駒ヶ岳火山灰 浮石流堆積物 溶岩	火山灰，浮石 安山岩溶岩	
		沼尻層 5+	浮石，砂，礫	5 m 平坦面
	―？―			
	更新世	上部火砕流堆積物	浮石，砂，礫	
		上部溶結凝灰岩 20	安山岩質溶結凝灰岩	
		森層 15+	砂，礫，浮石，粘土	20 m 平坦面
		下部火砕流堆積物 安山岩質溶岩 55+	火山角礫岩ほか	
		段丘堆積物 2.5	砂，礫	60 m 平坦面
		姫川火砕流堆積物 10	火山砂，浮石 火山角礫岩	
		尾白内層 35+	砂岩，凝灰岩	
新三第紀	中新世	黒松内層	集塊岩 凝灰岩	



駒ヶ岳北麓の地質断面模式図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）